

国立スポーツ科学センター（JISS） オプトアウトにより実施する研究

研究課題名	オープンアクセスデータを用いた陸上競技のパフォーマンス分析
倫理審査委員会承認番号	2024-029
研究開始日	2025年1月8日
研究終了日	2029年3月31日
研究目的	日本陸上競技連盟（以下、JAAFと言う。）、ワールドアスレティクス（以下、WAと言う。）、もしくは国際オリンピック委員会（以下、IOCと言う。）が主催もしくは共催する競技会において主催者から公表される競技成績およびタイム分析値（以下、オープンアクセスデータと言う。）を活用し、競技会に参加した陸上競技者のパフォーマンスの特徴を明らかにすることを目的としています。日本人選手のみでなく、国外選手も対象とします。
研究対象者	JAAF、WA、IOCが主催もしくは共催する競技会に参加した陸上競技者
研究概要	オープンアクセスデータには、種目別の競技成績、WAスコア（競技成績をWA基準によりスコア化したもの）、ラップタイム等の公式分析値、競技中の風や気象、競技者の性別、生年月日、年齢、身長、体重などが含まれます。これらのデータは、各競技会のWebサイト、WAのWebサイト内にある競技記録データベース、個々の競技者もしくはその所属チーム等のWebサイトにある競技者プロフィールページなどからアクセスすることが可能です。本研究はこれらのデータを活用します。オープンアクセスの個々のデータは科学的な新規性を持つものではありませんが、多数のデータを収集してその裏に存在する傾向を統計的に明らかにすることで、様々な知見を引き出します。陸上競技者にとってこれらの知見は、トレーニング方針の検討、競技会における戦略立案などの有益な参考資料になると期待されます。
研究に用いる情報の種類	競技会における種目別の競技成績、WAスコア、ラップタイム等の公式分析値、競技中の風や気象、競技者の性別、生年月日、年齢、身長、体重
研究の資金源	○本研究の資金源は、JISS内予算です。
研究に係る利益相反及び個人の収益	○本研究に係る利益相反や個人の収益はありません。
研究責任者	松林武生／スポーツ科学研究分門
共同研究者	景行崇文／スポーツ科学研究部門、後藤晴彦／スポーツ科学研究部門 牧野瑞輝／スポーツ科学研究部門、小泉潤／スポーツ科学研究部門 高橋恭平／日本陸上競技連盟科学委員会委員 山中亮／日本陸上競技連盟科学委員会委員 貴嶋孝太／日本陸上競技連盟科学委員会委員 小林海／日本陸上競技連盟科学委員会協力班員 綿谷貴志／日本陸上競技連盟科学委員会協力班員 大沼勇人／日本陸上競技連盟科学委員会協力班員
問合せ先	松林武生・スポーツ科学研究部門・03-5963-0231・ takeo.matsubayashi@jpnport.go.jp